

Yahoo!アクセス解析

解析用コードについて

バージョン 1.1
2009年8月6日

Copyright (C) 2009 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

本資料の内容を無断で複製、再配布、転載することを禁じます。掲載されている内容は、2009年8月6日現在のものです。掲載内容は、予告なく変更される場合がございます。ご了承ください。

目次

0 はじめに

1 解析用コードの取得とはりつけ方法

2 コンバージョン測定のための解析用コード取得とはりつけ方法

3 その他

3.1 クッキーの付与について

0 はじめに

Yahoo!アクセス解析は、ブラウザベースのトラッキングシステムにより、サイト訪問者のアクセス情報を取得しています。解析したい各ページに解析用コードをはりつけることによって、訪問者に関する詳細情報や訪問者の動きなどを把握することが可能です。サイトへのすべてのアクセス状況の詳細記録をデータベースで管理しています。各レポートにアクセスするたびに、データベースからデータをとりだし、リアルタイムでレポートを生成します。

「Yahoo!アクセス解析 解析用コードについて」では、主に解析用コードの取得とはりつけ方法などについて説明します。

1 解析用コードの取得とはりつけ方法

解析を始めるには、解析用コードをすべての解析対象ページにはりつける必要があります。

解析用コードをはりつけないと、解析が開始されず、レポート画面に数値が反映されませんので、必ず解析したいすべてのページに解析用コードをはりつけてください。

※コンバージョン機能を使用していて、目標アクションを設定した解析用コードをはりつける場合は、「2 コンバージョン測定のための解析用コード取得とはりつけ方法」をご覧ください。

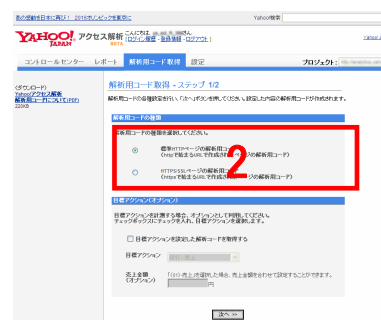
解析用コードの取得とはりつけ方法

1 ナビゲーションタブの「解析用コード取得」をクリックしてください。



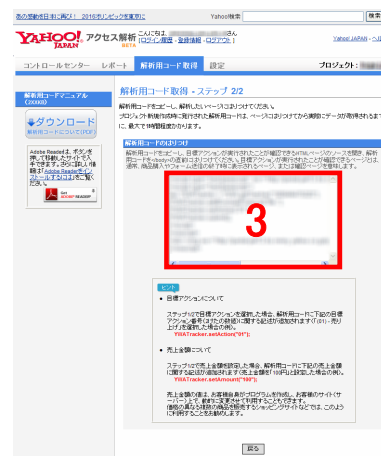
2 解析用コードの種類を以下の2つから選択してください。

- 標準 HTTP ページの解析用コード
(http で始まる URL で作成されたページの解析用コード)
- HTTPS/SSL ページの解析用コード
(https で始まる URL で作成されたページの解析用コード)



※ [コンバージョンの測定 (オプション)] は、コンバージョン機能を使用しない場合、設定する必要はありません。

3 解析用コードをコピーし、解析したい HTML ページのソースを開き、解析用コードを</body>の直前にはりつけてください。



メモ

・解析したい HTML ページすべてに対し、同様の作業を行ってください。

・解析用コードはすべての文字をコピーしないと解析ができないので、ご注意ください。

※ 新しくプロジェクトを登録した後は、解析が始まるまで最大 1 時間程度かかる場合があります。

2 コンバージョン測定のための解析用コード取得とはりつけ方法

コンバージョン機能を利用して、あなたのビジネスにとって価値があるウェブサイト上での訪問者の行動を目標アクションとしてトラッキング（行動追跡）することにより、コンバージョンを測定・分析することができます。標準的な目標アクションには、オンライン上の商品購入、会員登録、フォーム送信、ニュースレターの配信登録などがあります。

Yahoo!アクセス解析では、最大 10 件の目標アクションを設定し、トラッキングすることが可能です。目標アクションの設定方法については、「Yahoo!アクセス解析 マニュアル (PDF)」をご覧ください。ここでは、目標アクションのトラッキングのために必要な解析用コードの設定方法について説明します。

コンバージョンを測定するための解析用コードは、ナビゲーションタブの「解析用コード取得」から簡単に取得できます。

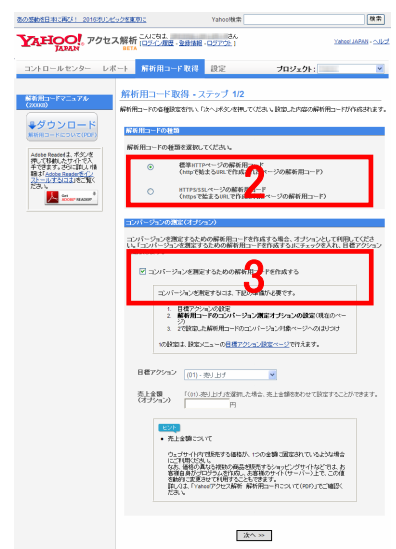
コンバージョン測定のための解析用コードの取得とはりつけ方法

1 ナビゲーションタブの「解析用コード取得」をクリックしてください。



2 解析用コードの種類を以下の 2 つから選択してください。

- 標準 HTTP ページの解析用コード
(http で始まる URL で作成されたページの解析用コード)
- HTTPS/SSL ページの解析用コード
(https で始まる URL で作成されたページの解析用コード)



3 [コンバージョンの測定 (オプション)] の [コンバージョンを測定するための解析用コードを作成する] にチェックを入れ、測定する目標アクションを選択してください。

※トラッキングしたい目標アクションを選択してください。

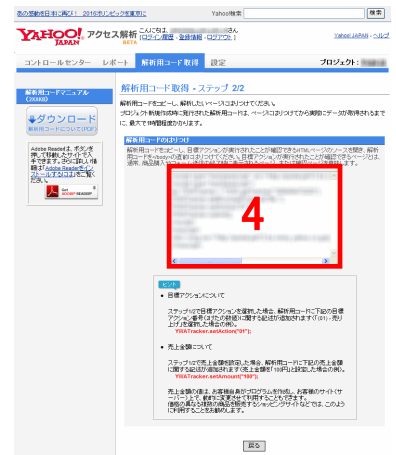
※「売り上げ」アクションを選択した場合のみ、[売上金額] を設定することができます。ウェブサイト内で販売する商品の価格が、1 つの金額に固定されているような場合にご利用ください。

※目標アクションの名前を変更するには、目標アクションを設定する必要があります。詳しくは、「Yahoo!アクセス解析 マニュアル (PDF)」をご覧ください。



4 [次へ] ボタンを押して表示された解析用コードをコピーし、3 で選択した目標アクションが実行されたことが確認できるページにはりつけてください。ページの HTML ソースを開き、コピーした解析用コードを</body>の直前にはりつけてください。

※目標アクションが実行されたことが確認できるページとは、通常、商品購入やフォーム送信の終了時に表示されるページ、または確認ページを意味します。



※目標アクションが実行されたことが確認できるページには、コンバージョン測定オプションを設定して取得した解析用コードのみはりつけてください。通常の解析用コードをはりつける必要はありません。

解析用コードに、手動でコンバージョン測定のための目標アクションを追加設定する方法

以下は、手動で解析用コードに記述を追加して目標アクションを設定する場合の例です。追加する記述は赤色で表示しています。

1 まず、コンバージョン測定オプションを設定していない、通常の解析用コードをご用意ください。以下の例を参考に、コンバージョン測定のためのコードを通常の解析用コード内の `YWATracker.submit();` 行の直前に追加し、そのほかの部分は変更せずにそのまま残してください。

2 目標アクションの設定

`YWATracker.setAction("01");`

下線の個所に、目標アクションの番号を 2 けたの数値で設定します（例：`"02"`）。

※数値以外の値は設定できません。また、目標アクション番号として用意されている 01~10 以外の値は設定できません。

3 売り上げアクションの売上金額の設定

`YWATracker.setAmount("JPY100");`

下線の個所に、「売り上げ」アクションと同時に発生する売上金額を小数点第 2 位までの数値で設定します（例：`"JPY200.50"`）。

この値は、お客様のサイトで動的に変更させて利用することもできます。たとえば、価格の異なる複数の商品を販売するショッピングサイトの場合、コンバージョン測定のための解析用コードが設定された購入後の確認ページなどで、この値を実際に販売された金額に変更させるプログラムを用いることで、より正確な売上金額を把握することができます。

※値を動的に変更させるプログラムの作成方法については専門書籍等をご参照ください。

※通貨単位は日本円（¥）です。数値の前に半角英字にて `JPY` が入力されていない場合、売上金額として正しい値が算出されないことがありますので、ご注意ください。

※売上金額は、「売り上げ」アクション（`"01"`）を設定した場合のみ、同時に組み込むことができます。

※数値以外の値は設定できません。

※整数部 7 けた、小数部 2 けたまで設定できます。マイナスの売上金額は設定できません。

※売上金額の設定は必須ではありません。設定しなくてもかまいません。

4 コンバージョン測定のためのコードが追加設定された解析用コード（全体）の例

※標準 HTTP ページの場合の例です。

※下記の例はそのままでは使用できません。必ず、コンバージョン機能を利用したいプロジェクトの解析用コードを元に、必要なコンバージョン測定のためのコードを追加してください。

「売り上げ」アクションを設定した解析用コードの例

```
<script type="text/javascript" src="http://i.yimg.jp/images/analytics/js/ywa.js"></script>
<script type="text/javascript">
var YWATracker = YWA.getTracker("xxxxxxxxxx ");
YWATracker.addExcludeProtocol("file.");
YWATracker.setAction("01");
YWATracker.submit();
</script>
<noscript>
<div></div>
</noscript>
```

「売り上げ」アクションと売上金額を設定した解析用コードの例

```
<script type="text/javascript" src="http://i.yimg.jp/images/analytics/js/ywa.js"></script>
<script type="text/javascript">
var YWATracker = YWA.getTracker("xxxxxxxxxx ");
YWATracker.addExcludeProtocol("file.");
YWATracker.setAction("01");
YWATracker.setAmount("JPY100");
YWATracker.submit();
</script>
<noscript>
<div></div>
</noscript>
```

5 記述を追加した解析用コードは、設定した目標アクションが実行されたことが確認できるページにはりつけてください。ページの HTML ソースを開き、解析用コードを</body>の直前にはりつけてください。

※目標アクションが実行されたことが確認できるページとは、通常、商品購入やフォーム送信の終了時に表示されるページ、または確認ページを意味します。

※目標アクションが実行されたことが確認できるページには、コンバージョン測定のために記述を追加した解析用コードのみはりつけてください。通常の解析用コードを重複させてはりつける必要はありません。

クリック動作を目標アクションとしてカウントする方法

ページが表示されたときではなく、ボタンを押したときなどの動作を目標アクションとしてカウントしたい場合は、下記の例を参考にしてください。

1 目標アクションの対象となるボタンがあるページに、目標アクションが設定されていない通常の解析用コードをはりつけてください。ページの HTML ソースを開き、解析用コードを</body>の直前にはりつけてください。

2 1のページのHTMLソースの任意の場所に、次のようなJavaScript関数を追加します。

```
<script language="Javascript">
function captureOnClick(actionnumber,actionamount) {
    var YWATracker = YWA.getTracker("解析したいプロジェクトの ID (例：1234567890123 など)");
    YWATracker.addExcludeProtocol("file:");
    YWATracker.setAction(actionnumber);
    YWATracker.setAmount(actionamount);
    YWATracker.submit_action();
}
</script>
```

3 対象のボタンを次のように設定します。これは「売り上げ」アクションと売上金額をトラッキングする場合の例です。['01']の個所に「売り上げ」アクションの目標アクション番号である「01」を設定し、['JPY1000']の下線個所に売上金額を数値で設定します。このボタンが押されるたびに、売上金額が1000円の「売り上げ」アクションが1回カウントされます。なお、このボタンが押された場合、新たなページビューはカウントされません。

```
<button onclick="captureOnClick('01','JPY1000');">売り上げ</button>
```

※「売り上げ」アクション以外の目標アクションをカウントしたい場合、または売上金額を設定しない場合は、2および3のJavaScriptを変更することで可能になります。

※JavaScriptの使い方については、専門の書籍やウェブサイトなどをご覧ください。

3 その他

3.1 クッキーの付与について

訪問者があなたのサイトを初めて訪れた場合は、訪問者のブラウザを一意に識別するIDを含む永続的クッキーを訪問者のブラウザに付与します。

クッキーの有効期限は1年間に設定しており、訪問者があなたのサイトに訪れる度に有効期限がその時点からの1年間に更新されます。

クッキーを付与できない場合は、常に新規訪問として識別します。訪問者がクッキーを削除した場合は、その訪問者が再度訪問した際に新規訪問として識別し、新しいファーストパーティのクッキーを再度付与します。最高セキュリティレベルでクッキーを拒否するように設定されたブラウザを除き、ほぼすべてのブラウザにクッキーを付与することが可能です。クッキーを付与できない場合でも、システムは、解析用コード、IPアドレス、およびブラウザのユーザーエージェントから訪問者の情報を得ることが可能です。